



VALFIX

電動工具用可動くさび

取扱説明書

Product Using Manual



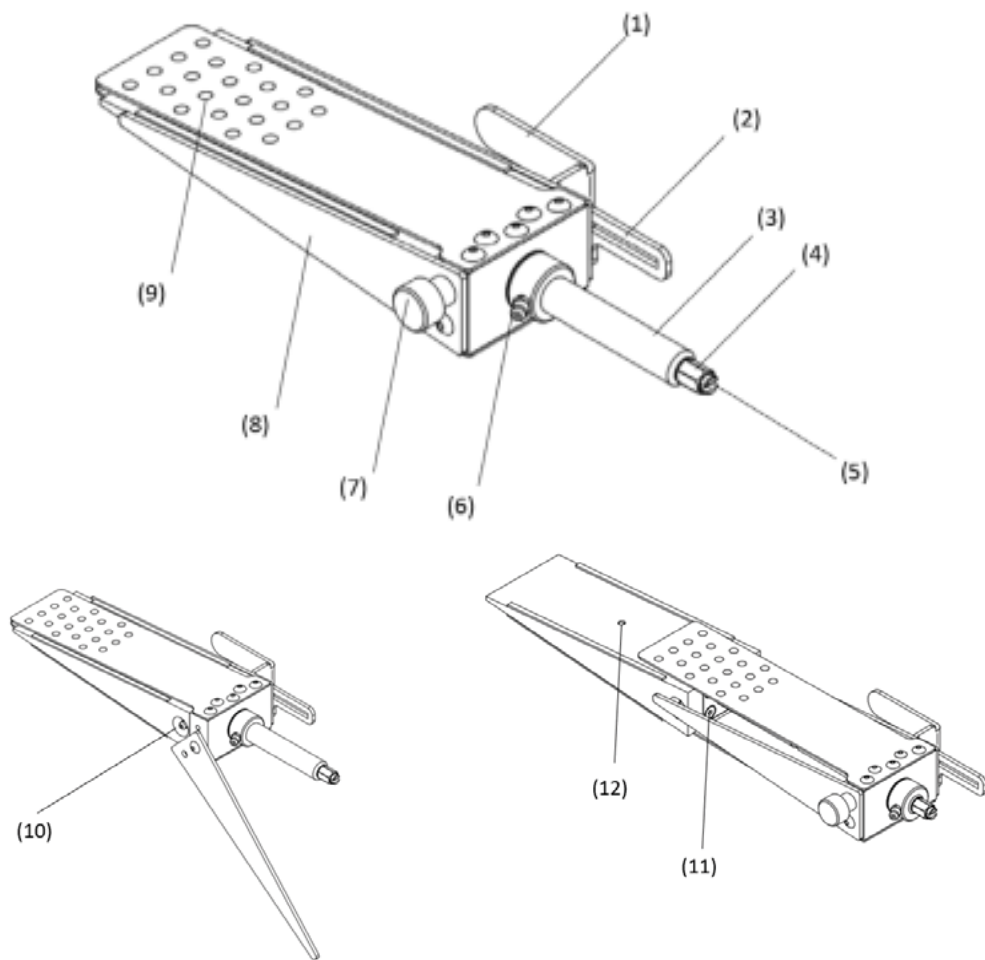
 **和光商事** WAKO
株式会社
www.wako-shoji.jp

目次

	Page
1. 技術仕様データ	2
2. 製品概要	3
3. 使用目的	4
4. 安全指導	4
5. 保証	6
6. 使い方	6
7. メンテナンス	10
8. 修理補修	11
9. 廃棄方法	12
10. カスタマーサービス	12
11. お問い合わせ先	12

1. 技術仕様

仕様	VALFIX
最大荷重 (ton)	15
本体質量 (kg)	1.35
長さ (mm)	330
幅 (mm)	135
高さ(mm)	50
上げ幅@回転 (mm)	6
最大トルク/インパクト時 (Nm)	650
最大トルク/静止時(Nm)	100



(1)	ハンドル	(7)	ローレットネジ
(2)	インパクトレンチホルダー	(8)	サイドカバー
(3)	スピンドル	(9)	ツメノブ
(4)	六角ドライブ 10 mm	(10)	グリース充填口-スピンドル内部
(5)	補助ドライブ	(11)	固定ネジ-くさびチップ
(6)	グリース充填口	(12)	プラスチックくさび・アウトレット

3. 使用目的

VALFIXの使用目的は、材木の収穫です。ここでは、伐倒方向から離れた側の木側面を持ち上げて、目的の方向に木を伐倒するために使用されます。食い込んでしまったチェーンソーを木から抜くためにも使用できます。

VALFIXはウインチやロープトレインに取って代わるものではありません。古典的なくさびで木を倒せると思える場合にのみ使用してください。強力な曲がり木やかかり木は、機械式スピンドルくさびで倒すことはできません。無理に使用すると、過負荷になったり、くさび本体が破損したりする可能性があります。

また、真菌の侵入によって弱体化した木材は、木材が必要な安定性をもたらさないため、VALFIXで伐倒しようとしてはなりません。予想外のかたちで早期に倒れたり、VALFIXを通常どおり木材に押し込むことができません。本製品は上記以外の状況時にのみ使用してください。

ラチェットまたはバッテリー駆動のインパクトドライバーは、VALFIXのドライブとして使用できません。ラチェットで加えられる最大トルクは100Nmです。インパクトレンチは、650Nmのハードトルク値まで使用できます。

万が一、VALFIXを

- 本来の目的用途以外の方法で
- 過負荷をかけたり
- 間違った使用方法をした場合

製造者はどのような事故および不具合にも責任を負いかねます。

4. 安全指導

安全上の警告を無視した場合、重傷を負った場合、死亡する可能性があります。



頭部保護具、顔面保護具、手袋、切断保護服、およびチェーンソー作業用に規定されたその他すべての防護服を着用してください。



VALFIXを使用するときは、チェーンソーと林業作業に関する現在のガイドラインを常に遵守してください。



VALFIXを使用するときに、一緒に使用するくさびはプラスチックまたはアルミニウム製のものを使用してください。



VALFIXを操作するときは、安全を確保するために、常にくさび部分を切り込み部分に押し込んでご使用ください。



VALFIXが損傷している場合は、VALFIXを使用しないでください。
木が倒れない場合は、追加のくさび、ラムジャックまたはケーブルウインチを使用してください。



VALFIXの最大吊り上げ能力は26トンです。



VALFIXはウインチやケーブルに取って代わるものではありません。この製品は、くさびで留められる可能性がある場合にのみ使用してください。



はっきりとした曲がり木は、VALFIXで倒してはいけません。これは、過負荷になる可能性があるためです。



誤った操作は、事故の可能性があります。



ご使用前に、本製品に損傷がないか必ず確認してください。

本製品の使用に慣れていない場合は、本製品を使用しないでください。



身体的および精神的な適性機能がある場合にのみ、ご使用してください。



本製品のくさび部分をすばやく引っ込めたり伸ばしたりすると、挟まれる危険性がありますのでご注意ください。



VALFIXは、破損や過度な汚れキズなどが無い状態でのみ使用できます。



VALFIXをコードレスインパクトレンチと組み合わせて使用する場合は、インパクトレンチメーカーの安全上の注意事項と操作手順も遵守する必要があります。

5. 保証

製品保証は1年間です。

これは、一般的な摩耗、過負荷、不適切な処理、または外国のスベアパーツの取り付けの場合などは範囲外となります。

保証は、製品本体が分解されていない場合にのみ受け入れることができます。材料またはメーカーのエラーによって引き起こされた損傷は、交換品の配送または修理によって無料で対応いたします。

6. 使用方法



ヒント：本製品を使用する前に、まず使用方法をお読みください。

伐採を開始する前に、以下の作業を行う必要があります。

- VALFIXを使用する前に、2つのグリース充填口(6) & (10)にグリースを充填してください。そのため、ネジ(7)を緩めてサイドカバー(8)をずらします。充填口よりグリースを充填し、(12)のプラスチックくさびアウトレットよりグリースが漏れ出てくるのを確認します。
- 表面をずらして全体的にグリースが塗布されていることを確認してください。
- サイドカバー(8)を元に戻して(7)のネジを締めます。
- VALFIXは、インパクトレンチの六角ソケットを使用して駆動されます。この六角ソケットは、インパクトレンチにしっかりと固定されているかを確認します。
- 電動インパクトレンチを使用する際には、十分な充電があることを確認してください。万が一バッテリー充電が足りない場合には、ラチェットを使用するか、くさびやハンマーで伐倒するようにしてください。
- 六角ソケットは六角ドライブ(4)に10mmサイズレンチでしっかりと固定されるようにしてください。
- VALFIXの最大のねじ込み深さを得るには、スピンドル(1)のねじがベアリングブロックのスピンドルナットにまったくねじ込まれていない状態から作業を始めることです。
- スピンドルを誤って回しすぎた場合は、補助ドライブ(5)の六角(6.3mm)にビットホルダーを取り付けることで、スピンドルを元に戻すことができます。
- スピンドルは、手またはコードレスインパクトレンチを使用してのみ戻すことができます。怪我の危険性が高いため、コードレスドライバー(ハンマー機構なし)の使用は禁止されています。

本書の取扱い方法は一般的な形の木の場合に当てはまります。

実際使用するために

1.対象木の状況確認

木の鋸作業を開始する前に、対象木は本製品を用いて作業を行える状況にあるか確認してください。

- 木は特定の方向にどの程度強く垂れ下がっていますか？
- 視覚的な伐倒スペースはありますか？
- 木の上部に多数の枝がありますか？
- 木は、枝によって他の木と干渉していませんか？

伐倒後のスペースに、多くのコケがあったり、根が張り巡らされていたりした場合には、十分に除去・清掃をしてから作業開始してください。

2.伐倒準備

通常のくさびを使用するときと同様に、伐倒方向に受け口を作ります。

3.伐木の60%ほどカット

伐倒方向側に受け口を入れた後、追い口を作ります。追い口は60%ほどを目安に切り込みを入れます。

厚い樹皮を持つ木の場合は、事前に適度に切断・除去する必要があります。

以下は60%カットを完了した場合

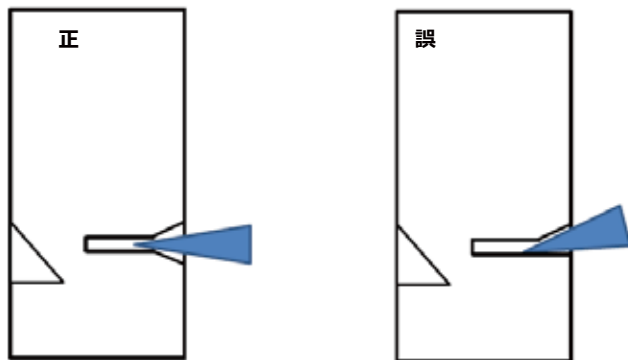


次に、この追い口を、上下均等に数ミリ斜めにカットし、本製品お差し込める形状（隙間）を作り出します。次の画像は、この拡張を行った状態です。

この作業は、チェーンソーを少し引き出してから少し前に傾けると、最も簡単に実行できます。



警告：カットが上下に伸びていない場合、ValFastのスピンドルが曲がる可能性があります。



さらに、上部と下部のノッチが木に対して90度と等しくあることを確認してください。そうしないと、シャフトが曲がる可能性もあります。

4. VALFIXの取り付け

これで準備は完了です。木の内部に十分なくさび表面のツメを食い込ませてください。スピンドルを回している間、くさびが木から押し出されるのを防ぎます。

少なくとも最初の3列を木の内部に入れてください。

次に、しっかりと固定されるまで本製品を回します。くさびの安定具合は、最後に残る樹皮などを切断するとき、のこぎりなどを片手で作業しやすく、挟み込まれることを防ぎます。本製品が正しく差し込まれており、木材から簡単に押し出されないようにします。

さらに追加でアルミニウムまたはプラスチックのくさびを使用して固定します。

5. 受け口の確認

続いてVALFIXを固定している反対側の受け口を確認します。追加で切断する場合には、切り込み高さのオフセットをみながら、チェーンソーがVALFIXの金属部分と接触しないようにしてください。また、VALFIXの真上もしくは真下に切り込みを入れないでください。

6. VALFIXを使用して木を持ち上げます

VALFIXを回転させることにより、最終的に倒れるまで木が持ちあがります。追加したくさびは手で押す必要があります。

本製品を最大域まで拡大させた場合でも伐倒することが出来ないときは、継続して回転はさせないでください。木は追加のくさびで倒す必要があります。

あるいは、再度アルミニウムまたはプラスチックのくさびで固定したうえで、さらにVALFIXを押し込んでリフトの高さを高くすることができます。

他の工具などでVALFIXをサポートすることは、樹木が伐採ノッチと反対方向に倒れなくなった場合にのみ許可されます。これは、例えば、伐採方向に急な傾斜で隣接する樹木に引っかかった場合に当てはまります。

木が独立して倒れ始めたらすぐに、すばやく安全な場所に避難してください。くさびを戻すときは、可動部分を握ったりして指などを挟んだりしないように注意してください。

7.

メンテナンス

メンテナンスにご注意ください。



VALFIXは、使用する前に損傷がないか目視検査する必要があります。

使用前の点検

●スピンドルの潤滑：

VALFIXは、2つのグリース充填口（6） & （10）のいずれかによって潤滑されます。これを行うには、ネジ（7）を緩めて、サイドカバー（8）を横に回します。グリースがプラスチックくさびアウトレット（12）から出てくるまで、内部スピンドルのグリース充填口にグリースを注入します。プラスチックくさびアウトレットの滑り面は、グリースで完全に湿らせておく必要があります。サイドカバー（8）をローレットネジ（7）で再度固定します。

●プラスチックのくさび表面の潤滑：

VALFIXを完全に伸ばし、無意識のうちにプラスチックのくさびの表面をグリースで湿らせます。

●個人的な損傷に対する視覚的な検査。

●スピンドルの動きの自由を確認します。

●損傷/ひび割れがないか、ツメノブ（9）を確認します。

使用後の点検

- ・ スピンドルを清掃してください。
- ・ スピンドルが通常通り稼働するか、キズなどがないかを確認します。
- ・ 土などの汚れを落とし、清潔に保ってください。

部品を交換する場合、製造者の提供するスペアパーツのみを使用してください。

くさびが破損している場合

プラスチックくさびを交換するには、次の手順に従います。

- くさびを清掃します。
- ビットアタッチメントを使用して、スピンドルがVALFIXから取り外せるようになるまで、補助ドライブ (5) のスピンドル (3) を回します。
 - くさびポイント (11) の固定ネジを緩め、ネジ付きナットをくさびポイントから取り外します。
 - ねじ山付きナットを新しいくさびチップに挿入します。
 - くさびチップ (11) の固定ネジを締めます。
 - プラスチックくさびを逆の順序で取り付けて分解し、グリースニップル (10) が正しい位置にあることを確認します。
 - プラスチックくさびをVALFIXハウジングが等しくねじ込まれていることを確認することが重要です。

• エッジチップが左右に動いてしまう場合

- 操作中にスピンドルが曲がった可能性があります。スピンドルは、スピンドル (3) を補助ドライブ (5) と一緒に回して、VALFIXハウジングから完全に取り外して交換します。
- 組み立ては逆の順序で実行されます。プラスチックくさびとVALFIXハウジングが等しくねじ込まれていることを確認する必要があります。

9. 廃棄方法

VALFIXを適切に廃棄します。サイドカバーとくさびチップを取り外します。プラスチック部品（ポリエチレン）と金属部品は、素材に応じてリサイクルしてください。
有害物質は使用されていません。

10. カスタマーサービス

ご不明点があった場合には、ご購入された販売店にお問合せ下さい。

お近くの販売店を確認したい場合には、
和光商事株式会社 各営業所もしくは、
info@wako-shoji.jpまでご連絡ください。

11. お問い合わせ先

輸入販売元



札幌営業所：〒069-0210北海道空知郡南幌町南10線西14番 TEL:011-375-9747 FAX:048-864-5565
東北営業所：〒020-0862岩手県盛岡市東北北1丁目12-25 TEL:019-635-0824 FAX:019-635-0825
東京営業所：〒336-0034埼玉県さいたま市南区内谷5-7-16 TEL:048-845-0025 FAX:048-864-5565
大阪営業所：〒563-0024大阪府池田市鉢塚1丁目5-7 TEL:072-734-6500 FAX:072-734-6501
九州営業所：〒861-8001熊本県熊本市北区武蔵ヶ丘9-2-40 TEL:096-338-1260 FAX:096-338-1365
業務サービス部：〒336-0034埼玉県さいたま市南区内谷5-7-16 TEL:048-864-5636 FAX:048-864-5618
本社：〒141-0031東京都品川区西五反田7-17-7-5階 TEL:03-5434-2751 FAX:03-5434-2597